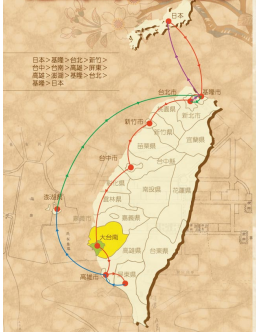
裕仁皇太子 台湾周遊ルート

大正12年(1923)4月16日～4月27日



日本＞基隆＞台北＞新竹＞
台中＞台南＞高雄＞屏東＞
高雄＞澎湖＞基隆＞台北＞
基隆＞日本

昭和天皇（本名裕仁、1901年4月29日～1989年1月7日）は日本の第124代天皇（1926年～1989年）。1926年（大正15年）に即位し、尚書中の「百姓昭明、協和萬邦（人々は皆聡明で、様々な国が仲良く助け合う）」の一句から元号が昭和となりました。

東宮行啓

甲午戦争で日本は台湾を取得し、総督を派遣して台湾を統治しました。台湾総督は計19名任命され、各総督は自ら巡査記録を行い、各地を巡視し、民衆の心を掴み、政治の構築は加速されました。これは統治者の最も古典的な手法であります。

皇太子の外出は「行啓」と呼ばれました。2つ以上の地域を行啓する場合は「巡啓」と呼ばれ、地域を視察し、領土内の発展状況を理解することで、実際に統治権力を手に入れました。

1923年、裕仁皇太子は総督・田健治郎の招待により、皇太子の身分で台湾を訪問しました。皇太子の「台湾行啓」は皇太子が天皇を代表して植民地を巡視する最初の例となりました。また、台湾島内で接待した日本皇室における最高階級であります。東宮行啓が行われた理由は以下のとおりです。『(1)形式的に天皇制強化を示し、世界の民主自決の風潮と国家主義の流れに対応する。(2)形式的に展示の過程において、ポスト統治体制を修正する。(3)在台日本人の模範として、「人民からの新附」を「帝国に忠誠な臣民」とする』。

資料提供/陳信安先生、陳俊安局長、鄭道聰先生呉馥旬氏
国立中央図書館台湾分館、flickr Taiwan

1923年04月20日～21日
日本裕仁皇太子の台南行啓ルート

4月20日のスケジュール

08:30	台中御泊所 → 08:38 台中驛 →
12:33	❶台南驛（初代台南駅（現存せず）） →
12:40	❺台南台南御泊所（1900年建設時は台南県知事官邸、1923年時は台南州知事官邸）★市指定古跡 →
13:20	❻台南州ホール（現在の国立台湾文学館）★国指定古跡 →
13:47	❾北白川宮御遺跡所（現在の孔子廟傍の十一公園の地（現存せず）） →
14:08	❽南門尋常小学校（現在の建興中学中正ビル、歴史建築） →
14:30	❼台南孔子廟（★国指定古跡） →
14:50	❿台南師範学校（現在の台南大学紅楼）★市指定古跡 ⓫台南第一公学校（現在の台南大学附属小学校の地、改築） ❸台南公園内を散歩（西南の位置の花園町門から入られ、元・招魂碑、御渡橋、事務所、「立太子記念樹」の小さな丘、飛瀑、中之島、燕澤噴水池東側と巡られ、東側の旭門からお出になる） →
15:38	❹台南第一中学校（現在の台南二中紅楼玄関と校史室）★市指定古跡 →
	台南ご宿泊（台南州知事官邸）

4月21日のスケジュール

08:40	台南御泊所 →
09:05	⓬安平製塩会社埋立地桟橋から船に乗船（現在の市指定古跡・元・専売局台南支局安平分室（夕遊出張所★市指定古跡）の西北の塩水渓傍（現存せず）） →
09:35	⓭安平製塩会社塩田（現在の南寮塩田生態文化村）★市指定古跡 →
10:35	安平埋立地 →
10:50	台湾総督府殖産局附属塩水養殖試験所（現在の五期再計画区（現存せず）） →
11:35	❷歩兵第二連隊（現在の大光復校区）★国指定古跡、榕樹を植樹（現在の大榕園） →
12:18	台南驛 → 高雄へ

日本裕仁皇太子 台南行啓スポット

大正12年4月20日～4月21日

01 元・台南驛 | 現在の台南駅

☎ 886-6-2261314　台南市東区北門路二段4号

背景のご紹介：

1900年（明治33年）、1911年（明治44年）、市区が改正され、台南驛前にロータリーが設置され、交通の中枢となりました。

02 元・日本軍歩兵第二連隊（★市指定古跡） |（現在の大光復校区、国指定古跡）

☎ 886-6-2991111　台南市東区大学路一号

背景のご紹介：

国立成功大学内、榕園中央の「キノコの形」をしたガジュマルの樹は、1923年、裕仁皇太子が自らの手で植林されたものです。正面の榕園3棟の建物は、日本軍歩兵第二連隊軍営であり、日本陸軍が最も早く鉄筋コンクリートを採用した実験建築物の一つです。裕仁皇太子は台湾島内の南部地区の守備状況を理解するために軍営を視察されました。

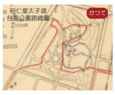
03 台南公園 （★市指定古跡）

裕仁皇太子が台南公園を行進したルート

台南市北区公園路356号

背景のご紹介：

台湾の各大都市において面積最大の公園です。1917年の市政開始記念日に開園しました。裕仁皇太子は台南公園を通って台南地区の憩い空間の経営成果を理解されました。



04 元・台南第一中学校 | 現在の台南二中紅楼玄関と校史室（★市指定古跡）

☎ 886-6-2514526　台南市北区北門路二段125号

背景のご紹介：

1914（大正3）年に創立され、前身は台湾総督府台南中学校で、台湾総督府が中南部で最初に設置した中学校でした。その後、教育改正により、「台南州立台南第一中学校」と改名されました。講堂は直轄市指定古跡となっており、紅楼玄関と2階の校史室に裕仁皇太子はお立ち寄りになり、校史室には「立太子礼記念文庫」が設置されています。

05 元・台南州知事官邸 | 1900年創設時は台南県知事官邸（★市指定古跡）

☎ 886-6-2991111　台南市東区衛民街1号

背景のご紹介：

1900年（明治33年）に建設され、主に総督が台南を巡視する際の「総督官邸」、皇族巡視の「御泊所」となっていました。本建築には和洋二館があり、洋館は現在の古跡の本体でレンガ建築となっており、2階北東の増築した部分が裕仁皇太子の居住空間となりました。

06 元・台南州ホール（★国指定古跡）| 現在の国立台湾文学館と文建会文化資産総管理処準備処南部オフィス

☎ 886-6-2217201　台南市中西区中正路1号

背景のご紹介：

1912年（大正元年）、大正ロータリーに新ホールが建設され、マンサードスタイルの屋根を主な特徴としていました。第二次世界大戦時に爆撃にあい、ひどく損壊され、戦後何度も修復されて現在の外観となっています。裕仁皇太子は台南州を訪れた際、まず州ホールで州内の概況を理解し、地方官員と接見してから台南教育及び産業機構を訪問されました。

07 台南孔子廟 （★国指定古跡）

☎ 886-6-2289013　台南市中西区南門路2号

背景のご紹介：

1665年（明永暦19年）、鄭経は陳永華将軍の建議を受け、「先師聖廟」を建設しました。1917年（大正6年）、日本人が地震で毀損されていた廟を修復し、全ての旧建物を解体して再建しました。裕仁皇太子は孔子祭の式典を視察され、台湾伝統の儒教の発祥を理解されました。

08 元・南門尋常小学校本館 | 現在の建興中学校中正ビル

☎ 886-6-2139601　台南市中西区府前路1段239号

背景のご紹介：

1919年（大正4年）に建設された元・台南第二尋常高等小学校で、歴代、南門尋常小学校、南門尋常高等小学校、南門国民学校と改名されました。校舎は赤レンガ建築です。裕仁皇太子は台南初等教育の発展を理解されるために視察されました。

09 元・北白川宮御遺跡所 | 元は現在の忠義国小傍の十一公園に位置する（現存せず）

台南市中西区忠義路2段1号

背景のご紹介：

1895年乙未日軍攻台統帥北百川宮能久親王戰死，其去世房間闢為「御遺跡所」，後完成擴建「台南神社」。裕仁皇太子行啟時其定位及儀禮僅悼念，未進行參拜。

10 元・台南師範学校本館 | 現在の台南大学紅楼 （★市指定古跡）

☎ 886-6-2133111　台南市中西区樹林路2段33号

背景のご紹介：

1989年（明治32年）創立され、その後、総督府国語学校台南分校が設置され、最終的に総督府台南師範学校となりました。1922年（大正11年）3月10日、現在の住所で開校となりました。

11 元・台南第一公学校 | 現在の台南大学附属小学校の地、改築

☎ 886-6-2132566　台南市中西区樹林路2段31号

背景のご紹介：

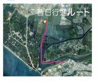
1896年（明治29年）に創設され、台南公学校、台南師範学校代用附属公学校と歴代改名され、最後に代用が排除され、附属公学校となりました。

12 元・安平製塩会社埋立地 （★市指定古跡）| 現在の直轄市指定古跡・元専売局台南支局安平分室（夕遊出張所）の西北の塩水渓傍に位置（現存せず）

☎ 886-6-3911088　台南市安平区古堡街196号

背景のご紹介：

日本政府は食塩の専売を実施し、台南支局の下に安平分室を設けました。早期は公共建設で、その後、宿舎となりました。

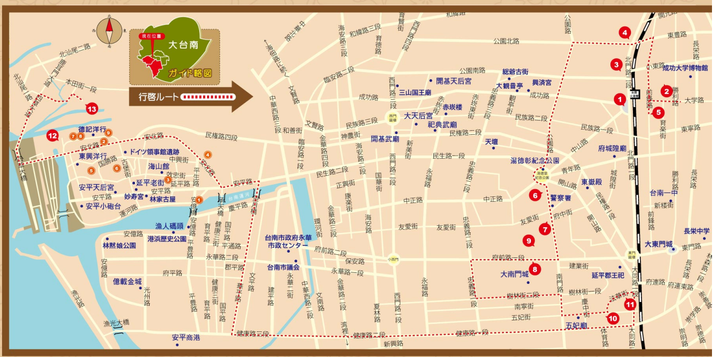


13 元・安平製塩会社塩田 （★市指定古跡）| 現在の南寮塩田生態文化村

☎ 886-6-2840073　台南市安平区大衆街101巷12号

背景のご紹介：

「台湾製塩株式会社」が安平に塩工場を施工したのは1923年（大正12年）で、現在も裕仁皇太子が訪問時に乗船した塩の運河、上下船埠頭、御休憩所、塩を晒す大蒸発池、小蒸発池、結晶池などが残されています。裕仁皇太子は台湾の塩業の発展状況を理解するために視察されました。



安平地区 おすすめスポット

① **運河博物館**
元・台南運河安平税関
台南市安平区安平路97-115号
市指定古跡。1935年、安平港が開港され、1939年、船が安平から直接現在の中国に渡り始め、税関もここに移動されました。

② **西門小学校郷土館**
元・安平小学校校長官舎
☎ 886-6-2295948
台南市安平区観音街64号
1913年（大正2年）から1924年に建設されました。

③ **安平文化資産館**
元・安平市仔街何旺厝
☎ 886-6-2206799、2290730
台南市安平区延平街86号
市指定古跡です。1920年（大正年間）に建てられ、俗称は「楼仔厝」です。

④ **蚵灰窯文化館**
☎ 886-6-2286836
台南市安平区安北路110-1号
安平地区は数百年前、すでに窯が存在し、現在は僅か安平灰窯文化館が完璧に保存されています。

⑤ **安平王鶏屎洋楼**
台南市安平区國勝路35巷2号
市指定古跡。1937年に建てられ、日本統治時代の末期、目立ちすぎないように洋楼が黒く塗られました。

⑥ **安平古堡陳列室**
☎ 886-6-2267348
台南市安平区国勝路82号
1930年（昭和5年）、総督府が「台湾文化300年記念」を祝うために建設した新しいスタイルの洋館です。

⑦ **安平樹屋**
元・大日本塩業株式会社倉庫
☎ 886-6-3913901　台南市安平区古堡街108号
19世紀に建てられ、日本統治時代は徳記洋行一同が「大日本塩業株式会社」への使用に提供していました。

⑧ **朱玖瑩旧居**
元・大日本塩業株式会社宿舎
☎ 886-6-3913901　台南市安平区古堡街108号